

6月 から 全疾病保障の団信

地域金融初グループでの関係深化

SBI生命と飯能信用金庫（埼玉県飯能市）が住宅ローンの団体信用生命保険いわゆる団信で手を結ぶ。6月から飯能信金の住宅ローンを新規で利用する顧客に対して全疾病保障の団信を提供する。精神障害を除くすべての疾病で就業不能状態が一定期間継続した際に残債が一括で保障される。SBI生命にとって地域金融機関との提携は初めて。

飯能信金は埼玉県下の主要都市に拠点を置く。住宅需要が高い地域で、当然、住宅ローンに近づく中で、団信に力を入

れる金融機関も目立つ。疾病保障付き団信は20

01年にカーディフ生命が開発したが、急性心筋梗塞と脳卒中を加えた3大疾病、次に糖尿病など生活習慣病も対象にした8大疾病保障が登場。さらに病気やケガと全疾病を保障す

る商品へと広がりを見せている。今回の提携商品は8大疾病の場合は1年、その他は2年の就業不能状態が続いた場合に債務残高相当額を支払う仕組みだ。SBI生命は「加入年齢が65歳まで幅広く、年齢が高い顧客にも魅力を受けたい」と話す。引受基準緩和型団信を導入すれば持病を持っていても、一部引き受けができるようになった」と利点を強調する。価格競争力の高さもあるという。



飯能信金本店

SBIグループではSBI証券を通じた金融商品仲介、SBIインベストメントが運営するフィンテックファンドへの出資など地域金融機関との関係を強化してシナジーを追求。SBIマネープラザは清水銀行と共同店舗を運営している。今回は生保分野も加えた。金融法人営業部は「地域銀行や信用金庫など幅広く取り扱ってもらえるよう努力したい」と話す。

SBIグループの拠点（京カードタワー）

